

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第635号 2023年1月15日

## 「新しく、きれいになる聖堂を楽しみに」

主任司祭 ミカエル鈴木 真

新年、明けましておめでとうございます。

昨年も長引くコロナ禍にあって、主日のミサをはじめ小教区の活動を進めるために、たくさんの方々にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

特に昨年後半は、聖堂の第2期工事も始まり、数々のご不便をおかけしました。今は、春にリニューアルされる予定の新しい聖堂になるのを、ひたすら楽しみに待っています。工事に携わるすべての方々にも、本当に感謝いたします。皆様と一緒に、すばらしく生まれ変わる予定の聖堂が1日も早く完成しますよう、共に祈りたいと思います。

どうぞ、本年もよろしく願いいたします。

## 新年のご挨拶

助任司祭 ダリル・ディニョ

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、破壊と混乱した我らの世界に、キリストの誕生を記念することは喜びと希望をもたらします。

新年を迎えるにあたり、クリスマスの精神が心に残ることを

お祈りいたします。私たちは、皆さんと皆さんの愛する人のために祈り続けますのでご安心ください。

フランシスコ教皇は、2023年の世界平和の日のメッセージの中で「私たちはパンデミックから何を学びましたか?」と言いました。そして、次を加えました：「最大の教訓は、お互いに必要としていることに気づいたことです。」さらに、「皆で我が社会を癒すこと、…平和的な世界の基礎を築くこと…そして、真剣に実際に公益になる善を追求する時が来ました。」

私たちは、我が教会の中でケアとコミュニティの雰囲気構築し続けるように、神様に祈ります。新しい年は、私たちの歴史の中に新しいページを作成する新たな機会を与えています。パンデミックの試練災難に耐え続けているにもかかわらず、私たちは昨年祝福を覚えています。これまで山手教会を大切にいただき、誠にありがとうございました。

この新年は、聖母マリアのように、私たちの人生と世界を神様の手に委ねましょう。この困難な時期に、希望の担い手になりましょう。私たちが会おう一人ひとり、そして、私たちが置かれているあらゆる状況において、神様を求め続けましょう。

神様が2023年を祝福し、癒しと永続的な喜びと平和が世界に与えられますように。

A Blessed and Joyful New Year to all!

皆さん、明けましておめでとうございます！

※日本語で原稿をいただきました。(編集部)

## 新年のご挨拶

助任司祭 ルドヴィコ茨木・西村英樹



山手教会の信徒の皆様、新年、明けまして、そして、主のご降誕おめでとうございます。

今年こそは、コロナも落ち着き教会活動や交わりの機会が活発にできるといいですね。

キリストの花嫁として、神の恵みと愛を輝きだすことができますように、お祈りいたします。

## 新年のご挨拶



新型コロナウイルスの心配がなくなったわけではありませんが、いかげん日常生活に戻りたいというのが一般的な思いではないでしょうか。

山手教会の場合は聖堂の修繕工事が行われているので、代わりにミサを行っている教会ホールでは密になることから引き続きミサの人数制限を行ってまいりました。ただ、昨年の後半から定員を100人程度にしましょうという変更を行い、土曜日の日本語と英語のミサ、日曜日の朝の日本語のミサはグループ分けを段階的になくし始めました。私個人の思いでは、聖堂の修繕工事が終わったら、すべてのミサの人数制限をなくしたいと願っていますが、その時点での教会委員会での判断を仰ぎたいと思います。

ミサも新しい式次第で行われるようになり、文言の違いに戸惑いつつも少しずつ慣れ始めてきたのではないのでしょうか。今はコロナの影響で歌を歌っていませんが、お気付きのように賛歌のことも変わっていて、それぞれの賛歌に新しいメロディーもできていますので、マスク着用など、まだしばらくは無条件にというわけにはいかないと思いますが、ミサで歌を歌うことも少しずつ始められればとも思っています。

今は各時間のミサごとにミサの数だけ小教区があるような状態ですが、違う時間のミサに参加する人も同じ共同体のお互いであることが感じられるような行事なども再開できればと思っています。その手段の一つとして飲食を伴う行事なども考えられますが、まだハードルが高いのかなと思いつつ、工夫をしながら交わりとしての教会を目指していければと思います。特に、山手教会では毎年多くの受洗者が与えられているので、信徒同士のつながりや交わりの場が持てる機会を再び設けられればと願っています。

コロナ、戦争、物価高など、明るい話題が少ない年になる予感もしますが、教会では少しずつ以前の日常を取り戻し、主にある希望のうちに歩いていく年になればと願っています。

(教会委員会 委員長 小倉 謙)

## 「心を清め人に仕える」



2023年もヨゼフ会会長を続けさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

今回も書き出しは新型コロナウイルスの話題ということになってしまいますが、ここ3、4年は本当にいろいろなことがあり過ぎて記憶を整理するのも一苦労です。4年前の2019年3月に聖堂の天井の一部が崩落、聖堂修繕工事第1期の開始に伴い同年7月に教会ホールでのミサが開始されました。そして、コロナ禍が始まったのが3年前の翌2020年1月、その時は教会ホールに現在の2倍の200席近い椅子を設置していました。未知のウイルスへの恐怖と混乱の中、3月には無会衆ミサに移行。教会は事実上の閉鎖状態になりました。しかし、7月にはコロナの第1波の収束と第1期修繕工事の終了に伴い、現在も一部で続くグループ別による聖堂でのミサが再開されました。その時点では、まさかコロナが第8波（2023年1月現在）まで続くとは誰も思わなかったでしょう。

その後も緊急事態宣言に合わせ2021年1月に無会衆ミサの時期がありましたが、それ以降は感染防止

に努めながら信徒参加のミサが続けられています。

また、一時期は事前登録済の山手信徒限定だったミサへの参加制限も少しずつ緩和され、現段階では土曜17時と日曜7時30分のグループは毎週の参加が可。日曜11時30分のみA・Bグループ別を継続していますが、他教会の信徒の方や未信者の方も予約なしで参加できるようになり、これは本当によかったと思います。そして、2022年の7月からは第2期修繕工事の開始に伴い2度目の教会ホールでのミサが開始され、現在に至っています。第1期の頃は第2期の工事なんてまだ先の話とと思っていましたが、あっという間にやって来てしまいました。そして、いまだにコロナと共に教会生活を送っていることに感慨深いものさえ感じます。おそらく関係した多くの方々も、この数年間のことは心に刻まれていくものと思います。

ヨゼフ会の活動は、まだ月の例会も再開していませんが、メンバーの多くが各委員会やグループで奉仕させていただいています。2023年は山手教会にとって「開かれた教会」の再建に向けての大切な時期と認識しており、ヨゼフ会もそのために精一杯仕えていきたいと思っております。今後ともヨゼフ会へのお力添えをよろしくお願いいたします。

なお、6月上旬には聖堂修繕工事の完成に合わせ、ロザリオ会・福祉委員会の協賛でチャリティコンサートを予定しています。内容はお楽しみということで、ご期待ください。

### 2023年度ヨゼフ会役員紹介

会 長：岡崎 芳浩

副会長：久保田 智洋 時久 毅

会 計：世界 孝二

幹 事：石澤 正雄 稲見 友一 小倉 謙  
川田 耕嗣 佐藤 康夫 澁谷 信男  
末澤 二郎 田中 広一 坪井 暢  
古谷 信彦 宮 裕一 柳川 晋一  
※幹事名は五十音順

監 事：青木 淳 佐々木 和男

(ヨゼフ会 会長 岡崎 芳浩)

## ロザリオ会新年度に向けて

ロザリオ会は、これから新たな一步を踏み出そうとしています。まず、「成人女子の会」という定義がありますが、活動としては男性女性を問わずに、教会のさまざまな会、集まりと連携し協力することが容易にできる集まりにしたいと思っています。信徒の高齢化、また、コロナ禍によって教会への足が遠のいている現状で、私たちの帰属する場所—物理的、精神的にも—としての教会をもう一度認識しようと思っています。手始めに役員の名称を変えました。会長、副会長ではなくリーダー、サブリーダーとします。リーダーは会を代表して月一度の教会委員会に出席します。また、書記という名称も実際に行う仕事の名簿管理に変更しました。新受洗者、司教様、神父さまたちの叙階記念、クリスマス、初聖体のお祝い、カードを担当し、連絡網での伝達の文書、『やまて』などへの文書作成は広報が担当します。会計は従来どおりとします。そして、2023年度は会費を再び集めることに決めました。サブリーダー、名簿管理、広報、書記は、それぞれ2～3人で担当します。また、すべてをサポートする連絡係を設けます。昨年の役員は、こうしたスタッフとして残りますが、新たな人を増やして次年度からは、その人たちが責任者となれるように、2023年は共に協力して仕事をしていこうと思っています。

今までの第1金曜日のミサもロザリオ会の主催とします。その担当は従来どおり家庭会とします。人数が減少しているところは、他の家庭会と協力して行います。それは、実際に高齢化少数化が進んでいる家庭会のメンバーも、やはり家庭会は存続させたいと希望しているからです。そして、このミサには誰でもが参加できるということをもっと徹底させたいと願っています。受洗して間もない方も、ぜひ、さまざまな役割を分担していただきたいと願っています。コロナも多分少しずつ落ち着いてくるでしょうから、小さな奉仕活動、また、昨年の編物講習のような会も増やしていきたいと思っています。よくマルタとマリアの話が出てきますが、もちろんお祈りすることはとても大切ですが、人々と共に働



くことで、より神様を身近に感じることができるはずです。ロザリオ会、または他のいろいろな会で仕事をしてきた人は、たくさんの喜びを見いだしていることでしょう。信徒の方々が自分のできる範囲で、さまざまな役割を担って支え合う教会を目指したいと願っています。何かできることがあれば、どうぞお知らせください。いつでも大歓迎です。どうぞよろしくお祈りします。

### 2023年度ロザリオ会スタッフ

リーダー：古谷 浩子

サブリーダー：松崎 恵津子 太田 康子

広 報：島田 節子 山本 紀志子

名簿管理：桑原 優子

会 計：藤原 泰子

連 絡 係：松本 尚子

(ロザリオ会 広報 山本 紀志子)

## 「主の降誕」夜半のミサ

例年、横浜雙葉学園の講堂で執り行われる首題ミサは、新型コロナウイルス感染症対策により、3年続けて今年も山手教会の教会ホール聖堂で規模を縮小して午後7時からラファエル梅村昌弘司教主司式により、ささげられました。

### 梅村司教説教（要旨）

引き続きのコロナ禍にあってのクリスマスです。主の降誕を祝って共にミサをおささげしたいと誰しも思うところですが、今年も残念ながら人数を制限しての集まりです。熱い思いを持ちながらも参列することがかなわなかった方々のことも思い出しながら、きょうのごミサをご一緒にささげることができればと思っております。クリスマスはイエス・キリストの誕生を祝う日です。わたくしたちにとっては当たり前のことですが、ここ日本にあって、はたして当たり前のことが当たり前のこととして理解されているのか否か非常に疑わしいところです。

きょうの第2朗読で『使徒パウロのテトスへの手紙』が朗読されましたが、次のように言い表しています。「すべての人々に救いをもたらす神の恵みが

現れた」。また、別の箇所では「わたしたちの救い主である神のいつくしみと人間に対する愛とが現れた」とも言っています。キリストの誕生、それは、わたしたちに救いをもたらす神の恵み、神のいつくしみ、神の愛がイエスによって肉となられ、からだという目に見える具体的な形で現れたという、わたしたちにとって大きな喜びの出来事、救いの出来事だということでもあります。

この夜半のミサ、特に朗読、祈願をとおして、わたしたちに印象的に教えられるところは、闇と光との対比です。どんなに闇が深くても真の光であるキリストによって、その闇は打ち消される。そういうことをわたしたちに何度も何度も、繰り返し繰り返し、きょうの典礼は、わたしたちに呼びかけています。どんな闇もキリストにあっては、すべて消え去ってしまう。人々の心の中で決して消えることのない光となった。キリスト・イエスは人となってわたしたちのところに来られた。現在社会の、ある意味で偏った価値観の中で辛い思いをしている人、社会の中で役に立たないと思われる人、からだの不自由な人、病気の人、年をとった人、差別を受けている人、そういう人とともに歩んでくださる方こそがイエスなのだ。そのように、きょうのミサの中での典礼は語りかけています。どんな人間も、皆、例外なく大切だという神の思いを告げるために神の御ひとり子が人となられた。イエスは社会の中で無力な人とともに生きるために、みずから貧しい惨めな飼い葉おけの中にあって誕生した。それは同じように無力のものとして生まれて来ることによって、そういう人たちとともに歩むためにということです。

2千年前にユダヤのベトレヘムで誕生した救い主であるイエス・キリストは、こんにちも、いまなお、わたしたちの間にあって生まれ続けるということを感じたいと思います。決してキリストの誕生は過去の出来事ではない。わたしたちのうちにあって、その誕生は続けられている、ということです。わたしたち一人ひとりの心の闇の中に、わたしたちとともに生きるためにイエス・キリストは光となって新たにお生まれになるということです。

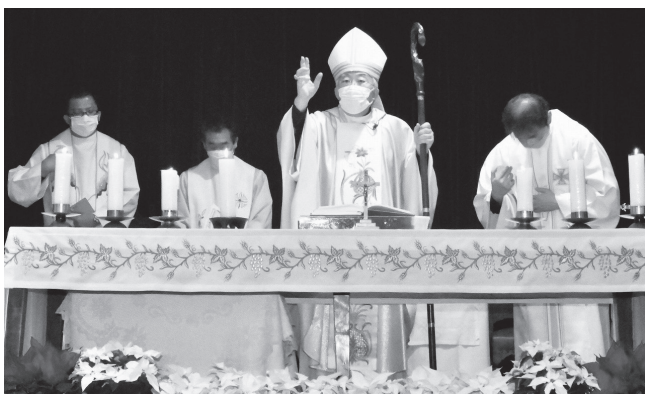
ルカの福音書は、そのことを「きょう」というこ

とばを繰り返し繰り返し述べることによって告げています。きょうの福音の中でも言われていました。「きょうダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった」

この「きょう」は、イエス様の十字架での最後の場面でも繰り返されます。回心した盗賊の一人がイエス様の十字架の隣で同じように十字架にかけられる中で、「きょう、あなたは、わたしとともに楽園にいる」と。また、誕生と、その死の間の公生活にあっても、この「きょう」は繰り返されてきたということだと思えます。

皆さん、いちばん思い出すのはザアカイのことだと思えます。ザアカイの家に宿をとったイエス様、その家をあとにするときに「きょう、この家に救いが訪れた」と言ってくださった。その「きょう」が、わたしたちのうちにあっても実現するということをわたしたちは信じてやまない。そして、本当に、実際に、わたしたちのうちにあって「きょう」になるように信仰の道を歩んでいくことであれば、すばらしいと思えます。わたくしたちだけでなく、救い主の訪れた一人ひとりのうちにあって、「きょう」になるように、わたしたちが務めていくことができれば、すばらしいと思えます。

きょうは、そうしたことを思い起しながら救い主の誕生をとともに、お祝いしたいと思えます。



(編集部 土方芳人)

## 山手教会学校『クリスマスの集い』のご報告

2022年12月4日開催

今年の教会学校は、コロナ対策をとりながらクラ

ス別の授業や子どもミサ、初聖体など、まだまだ制限もありましたが無事に活動ができました。神父さまはじめ皆様のご協力、そして、お祈りいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、何年かぶりに幼児科から6年生まで合同で『クリスマスの集い』を行いました。ペンライトを持ち静かに着席。幼児科の子どもたちが、ハンドベルで鐘の音を演奏。部屋のライトは暗くしたまま、リーダーの語りで『むかしベツレヘムで』を聴いて心一つにしました。ライトがつき明るくなったところで、鈴木神父さまのもとでお祈りをして始まりました。神父さまはクリスマスにむけて「誰かに喜んでもらえることを心がけて生活しましょう」と、お話してくださいました。それから、ギターで伴奏してくださり、歌詞を味わいながら、みんなで『しずけき』『聞かせてください』をマスクしてささやき歌いました。以前のように楽しい語りや、大きな声では歌うことはできませんでしたが、神父さまのおかげで心の中で手をつなぐことができ、久しぶりにうれしい体験でした。そして、最後に『子うさぎましろのお話』の絵本をプロジェクターで映しながらリーダーたちが、それぞれの役を語り熱演。心に響く内容で、美しい音色のトーンチャイムが話の中で奏でられ、幻想的に深まり子どもたちは、お話に引き込まれていました。絵本の感想などもインタビューに自分の気持ちを答えてくれて成長を感じ、記念撮影の笑顔が、また、すてきでした。

来年は、もう少し自由に活動ができるようにと祈っています。



(撮影：教会学校リーダー 高橋治子

文：牧野 真規子)

## スカウト合同クリスマス会開催

「主の降誕」の時を迎え、12月11日、コロナ禍にあって3年ぶりにガールスカウト神奈川第85団との合同クリスマス会を教会ホールで開催、スカウトと体験入隊希望者、ご家族の皆様、約80人の方々にご参加いただき、楽しいひとときを一緒に過ごすことができました。

会の冒頭、主任司祭ミカエル鈴木真神父様のご講話で、子どもたちが喜ぶクリスマスプレゼントにちなみ、「本当に大切なのは、困っている人たちを助け、喜びや幸せ、豊かさを自分から周りの人たちへ贈ること」と教えていただきました。引き続きのスタンツでは、BVS隊のもみの木合唱団（保護者の皆様もご出演ありがとうございました！）、ガールスカウトの紙人形聖劇（ペープサート）、CS隊のクリスマス・ハンドベルが披露され、日頃の練習の成果が見事に発揮され、大盛況でした。

今後もスカウト活動を通じて、引き続き、世の平和に奉仕する青少年の育成に貢献してまいりますので、信徒の皆様とご縁の深い体験希望者のご紹介を心よりお待ちしております。



（ボーイスカウト横浜第34団

ビーバースカウト隊 隊長 平林 秀一）

## 2022年12月度教会委員会議事要約

日時：2022年12月4日（日）13：30～15：35

場所：司祭・信徒館1階「松・竹」

議事内容（議事進行：小倉委員長）

### 1 主な審議確認検討事案 ※順不同

#### (1) 聖堂絵画の修復について

- 聖堂内にある脇祭壇画4枚が経年劣化を起こしており修復を検討する。
- 美術品修復の専門業者より見積を入手。

#### 【決定事項】

- ・ 検討を進める。

#### (2) 教会敷地内立ち入りに関する掲示について

- 現在掲示している文面について意見があった。

#### 【決定事項】

- ・ ペットについては、敷地内での糞尿など完全に除去することは難しいことを踏まえ、現在の掲示のままとし、ペットの入場は遠慮いただく。
- ・ 「教会にご用のない方は」という掲示については、「工事期間中は」という表記に変更する。
- ・ 工事後については、別に検討する。

#### (3) 成人の祝福について

- 今年度はミサのお知らせのみで、参加は1人だけであった。
- 以前は中高生会で声をかけていたが、コロナ禍で行っていない。成人の祝福の取りまとめについて主幹が明確でない。

#### 【決定事項】

- ・ 事務所から対象者に郵送で知らせる。
- ・ 1月8日（日）11時半のミサ後に成人の祝福を行う。

#### (4) クリスマス献金の献金先について

- クリスマス献金は、例年どおり福祉に充てるか。

#### 【決定事項】

- ・ 例年どおりとする。

#### (5) 降誕祭ミサについて



- 降誕祭夜半のミサは、17時（英語）、19時（日本語・司教ミサ）、21時（英語）とする。
- 降誕祭、年末年始のミサは、申込者の希望どおりで確定。
- 案内係は、敷地内への車の侵入などや申し込みされていない方への対応を強化する。

#### (6) 新しいミサ曲について

- 聖歌隊は新しいミサ曲の練習を開始。
- 会衆も歌ってもらうことを想定。

#### 【決定事項】

- ・ コロナなどの対応を踏まえ、状況に応じて判断するため継続審議とする。

#### (7) コロナ禍のミサと教会活動（継続審議）

- 主日の朝ミサの参加者は、A、Bグループを合わせて70人程度。

#### 【決定事項】

- ・ 主日の朝ミサについては、12月11日（日）にアナウンスしたうえで、12月18日（日）からA、Bグループを統合する。

#### (8) 来年度の教会委員会メンバーについて

- 交代予定の確認

#### 【決定事項】

- ・ 委員長をはじめ、大半が来年度も継続。
- ・ ロザリオ会、ヨゼフ会は交代の可能性もある。

#### (9) 信徒大会について

- 来年度の信徒大会は、どのような形式にするか。

#### 【決定事項】

- ・ 昨年同様、資料を作成して配布する形とし、大会として集まる形はとらない。

#### (10) 聖堂修繕工事の見通しについて

- 復活祭に聖堂が使えるようになるか。

#### 【決定事項】

- ・ 2023年1月の教会委員会で工事の状況と見込みを報告する。

## 2 今後の活動、報告事項

### 【ボーイスカウト・ガールスカウトより】

- 1月1日（日）8時半から教会駐車場で旗揚げ

式を行う。

### 【事務所より】

- 12月29日（木）から1月4日（水）まで事務所は休み。

### 【典礼委員会より】

- 11月27日（日）11時半のミサ後に馬小屋を先唱台前に屋根なしで設営。
- 11月26日（土）のミサより新しい式次第となったが、今のところ特に問題なし。
- 11月26日（土）のミサで入門式。11人が参加した。

### 【教会学校より】

- 11月20日（日）に8人が初聖体。ミサへの参加は86人。
- 12月4日（日）に、久しぶりに全学年でクリスマスの集いを行った。
- 12月11日（日）13時半より2学期終業式の子どもミサ。68人が参加予定。

### 【教会報『やまて』12月号について】

- 『やまて』12月号は、例年なくなるのが早いので普段500部のところ、700部とする。

### 【福祉委員会より】

- ミニ福祉イベントは好評のうちに終了。

### 【大掃除について】

- 12月18日（日）15時より大掃除を行う。

## 3 主任司祭から

- 12月6日（火）横浜雙葉学園のアンナ会、待降節の集いミサ。
- 1月5日（木）教区の学連の学生の集まりを司祭・信徒館1階「松・竹」で行う。
- 5月28日（日）堅信式。

## 4 次回教会委員会

2023年1月8日（日）13時00分～15時00分終了予定。

（総務担当 宮 裕一）

2023年1月・2月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主 日	聖 歌 (歌わずに章句を唱えます)			聖歌隊	時 間	奉 仕 者				ミサ参加 割当
		答唱詩編	アレルヤ唱	感謝の讃歌			オルガン	先 唱	聖書朗読		
1月15日	年間第2主日	典54 ①②③	典271 年間第2A			前日pm5:00	村 松	斎 藤	鈴木(明)	福田(直)	夜ミサAB
						7:30	渡 邊	二 宮	石 川	工藤(元)	朝ミサAB
						* 11:30	米 沢	遠 藤	中川(由)	岩 隈	昼ミサA
22日	年間第3主日 (神のことばの主日)	典73 ①②⑥	典268 年間第3A			前日pm5:00	村 松	工藤(元)	飯 塚	志 村	夜ミサAB
						7:30	太 田	末 澤	古谷(浩)	藤本(茂)	朝ミサAB
						* 11:30	手 塚	村田(義)	川 田	鈴木(理)	昼ミサB
29日	年間第4主日	典19 ①③④	典271 年間第4A			前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	羽 石	阿部(眞)	夜ミサAB
						7:30	太 田	曾 禰	未 定	早川(真)	朝ミサAB
						* 11:30	中 川	時 久	小 松	荻 原	昼ミサA
2月5日	年間第5主日	典99 ③④	典268 年間第5A			前日pm5:00	村 松	竹之内	新井田	島田(節)	夜ミサAB
						7:30	中 川	石 賀	島 田	武 田	朝ミサAB
						* 11:30	米 沢	山本(紀)	後 藤	紀國谷	昼ミサB
12日	年間第6主日	典75 ①④	典271 年間第6A			前日pm5:00	村 松	斎 藤	小佐井	福田(直)	夜ミサAB
						7:30	太 田	二 宮	田 口	神 近	朝ミサAB
						* 11:30	佐 藤	遠 藤	川 田	木 原	昼ミサA
19日	年間第7主日	典93 ①③④	典268 年間第7A			前日pm5:00	藤 沼	工藤(元)	飯 塚	志 村	夜ミサAB
						7:30	渡 邊	末 澤	早川(真)	細 谷	朝ミサAB
						* 11:30	中 川	村田(義)	池 田	上 瀧	昼ミサB
22日	灰の水曜日					11:30(予)	太 田	曾 禰	未 定	未 定	別途選定
26日	四旬節第1主日	典6①② 典7①	詠唱 典260 四旬節第1			前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	羽 石	阿部(眞)	夜ミサAB
						7:30	渡 邊	亀 井	東海林(正)	津久井	朝ミサAB
						* 11:30	手 塚	藤原(ま)	川 田	鈴木(理)	昼ミサA

編 集 後 記



この写真は、昨年4月16日(土)復活徹夜祭ミサで小生が撮影した梅村昌弘司教の入堂シーンです。今年の復活祭では新型コロナウイルス感染症が終息し、マスクを外した姿を撮影できれば良いと思います。

今年も、より良い山手教会報作成のため編集部員一同、努力しますので、皆様のご支援をよろしくお願いたします。太田康子、木下こゆる、古山久美子、竹之内弘美、田中麻子、中島晶子、渡邊敏行、土方芳人。  
(土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。